

2005 JTU Junior Triathlon Championship  
Nagaragawa  
2005JTU 日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会  
31 July 2005



蔵本葵 2 連覇、比嘉和真は昨年の雪辱を果たす

2005JTU 日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会は、7 月 31 (日)、岐阜県木曾三川公園特設コースで、ジュニア A (中学生) とジュニア B (高校生以上 20 歳未満) に分かれて行われた。

午前 8 時ちょうどにスタートした日本ジュニア男子 B は、スイムで遠藤樹 (北海道連合) がトップに立つと、名取和正 (神奈川県連合)、田村雅也 (チームテイケイ練習生)、古川哲也 (チームゴーヤ)、比嘉和真 (チームゴーヤ)、林舟之輔 (東京都連合)、岡野祐作 (愛知県協会)、永田悠太 (大阪府協会)、若杉摩耶文 (日本体育大学) まだが 33 秒以内でバイクへと移った。バイクでは若杉、岡野、古川、比嘉、田村、遠藤が第 1 集団を形成した。昨年ジュニア A で優勝し今年からジュニア B に上がった細田貴茂 (埼玉県連合) は、第 1 集団に入れずに第 2 集団でバイク戦うことになり、ランで俊足を活かすことができなくなった。ランでは、遠藤が後退するなか、比嘉、古川の沖縄勢がリードを拓げ、比嘉が初優勝を果たした。2 位は古川、3 位には若杉が入った。レース後比嘉は、「昨年は伊東宏晃 (日本体育大学) 選手に負けている。そして今年がジュニア最後の年。だからぜひ勝ちたかった。9 月の ITU 世界選手権蒲郡大会では、頑張ります」と、ホッとした様子で答えた。

午前 9 時 10 分スタートのジュニア女子 B は、予想通り呼野詩織 (東京都連合) がスイムをトップフィニッシュ。10 秒遅れて和田陽加 (東京ヴェルディ)、その 9 秒後に蔵本葵 (東京ヴェルディ)、伊藤弥生 (福岡県連合) が続いた。バイクでは、呼野がペースを上げて逃げにかかり、リードを拓げてゆく。追う第 2 集団は、蔵本、伊藤、和田が先頭交代を繰り返しながら呼野に迫ったが、呼野は 38 秒の差をつけてランへと突入した。ランで逃げたい呼野に蔵本が 1 周目の前半で追いつき逆転し、そのままトップを独走して昨年に引き続き 2 連覇を飾った。トライアスロン初挑戦でランナー出身の高嶋陽香 (大阪府協会) は、バイクまでの劣勢をランラップ 1 位の走りで挽回し、2 位に入った。3 位には、同じくランで追い上げた菊池日出子 (チームテイケイ) が入った。優勝の蔵本は、「バイクでトップ集団を形成できなかったのが、気分的に焦った。ランに入ると思ったよりも走れたので、トップに立ってからはペースを守って走った。蒲郡の世界選手権では、いいレースがしたい」と語った。

同時に開催されたジュニア女子 A は、スイムを 2 位で終えた山本奈央 (愛知県協会) がバイクで頑張り、ランで逆転して昨年に続いて優勝し、2 連覇となった。ジュニア男子 A は、スイムからトップに立った久保埜一輝 (北海道連合) がバイク、ランでもほかを寄せ付けず、初優勝した。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

